



平成29年9月28日

各 位

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 加藤 好文  
 (コード番号 9045)  
 問合せ先責任者 経営統括室経理部長 城野 教雄  
 (TEL 06-6944-2527)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月28日に公表した平成30年3月期の第2四半期(累計)業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	138,000	13,000	12,000	10,000	93.28
今回修正予想(B)	143,000	15,200	14,100	12,200	113.80
増減額(B-A)	5,000	2,200	2,100	2,200	
増減率(%)	3.6	16.9	17.5	22.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	141,157	17,316	16,303	12,046	112.21

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想における1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細は、平成29年4月28日適時開示の「単元株式数の変更および株式併合ならびにこれらに伴う定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。参考値の前期第2四半期実績につきましても、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、不動産業においてマンション販売戸数が当初の想定を上回る見込みであるほか、株式会社ゼロ・コーポレーションの株式を取得し連結子会社化したことや、運輸業が定期旅客数やインバウンド需要等による京都方面観光客数の増加を受け堅調に推移していることなどから、営業収益は前回予想を上回る見込みであります。さらに、経費の削減や下期への繰り延べ等による営業費の減少も加わり、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益においても前回予想を上回る見込みであります。

以上の理由により、平成29年4月28日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期(累計)業績予想を修正いたします。なお、通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想につきましては、第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上